

## 第68回 国体予選会要項

### 1. 大会参加資格および義務

神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHF と呼ぶ)に加盟するカテゴリ「一般」及び「高校生」に平成24年度登録をしているチーム及び選手と役員。同カテゴリに登録されたチームはすべて参加しなければならない。

- 注1. この大会に出場できても国体の参加資格にあてはまらない選手は、県代表チームに選抜されない。
- 注2. 登録費未納のチームは、日ア連登録が有効とならない。したがって本大会については失格とする。
- 注3. 大会参加費未納及び監督会議欠席チームは本大会については失格とする。
- 注4. 本大会に不参加若しくは注2. 3. により失格となったチームは第59回神奈川県選手権大会に関し参加資格を有しないものとする。

### 2. 国体代表選手選抜方法

国体選手選考委員会を設置し、本大会及びトライアウトの結果により県代表選手を決定する。

### 3. 大会形式

#### 【成年の部 A pool】

第67回神奈川県国体予選会の結果より入れ替えた、A pool 8チームを2組に分け、4チームのリーグ戦を行う。それぞれの組の1位同士で優勝決定戦を行うものとする。

A pool 各組の最下位チームは次回国体予選会の B pool へ降格するものとする。

最下位チーム以外は次回大会の A pool に残留するものとする。

但し、今大会では A pool 残留チームの中で、1チームが休部の申し出があったため、今回に限り A pool 各組の最下位チームで B pool へ降格する2チームの内、1チームは抽選により A pool へ残留させるものとする。

#### 【成年の部 B pool】

- ・ A pool 以外のチームにより、トーナメント形式にて B pool 優勝、準優勝を決定する。B pool 優勝、準優勝チームは次回国体予選会の A pool へ昇格するものとする。
- ・ 組み合わせによりシードチームが生じる場合は、A pool からの降格チーム、前年度同大会 B pool 準決勝進出チームの順に当てはめるものとする。
- ・ 第1試合で敗退したチームは、敗退したチーム同士で1試合の敗者交流戦を行う。但し、シードチームが敗退した場合の交流試合については別途協議する。

#### 【少年の部】

別途定める。

### 4. 試合参加資格

2012年9月23日時点に於いて Face-Off システムにより県連に到達した者で、当該試合のメンバー表に記載された選手および役員とする。

### 5. 競技時間

成年の部 A pool 優勝決定戦

練習 5 分、各ピリオド正規 20 分(各ピリオド間氷上整備)、インターバル 10 分とする。

その他の試合

練習 5 分、各ピリオド正規 15 分、インターバル 3 分とする。但し、スーパーバイザーの判断によりピリオドの途中からでもロス込みとする場合がある。

## 6. 順位

成年の部 B Pool

3ピリオド終了時同点の場合、サドンビクトリー方式の GWS により勝敗を決める、但し、B Pool 敗者交流戦は順位を定めず、引き分けとする。

成年の部 A pool リーグ戦

- a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づける。(勝ち点は勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える)
- b. 勝ち点と勝利数が同一の場合、対戦結果の勝ちチームを上位とする。
- c. 対戦結果で順位がつかない場合は得失点差、総得点の順とする。
- d. 得失点差、総得点が同一の場合は、総ペナルティータイムの少ない方を上位とする。

成年の部 A Pool 優勝決定戦

3ピリオド終了時同点の場合、サドンビクトリー方式の GWS により勝敗を決める。

## 7. タイムアウト

成年の部 : A pool :優勝決定戦のみ有り、その他はなしとする。

## 8. ベンチ

成年の部 A pool : 対戦表で上位チームが本部席からみて左側とする。

成年の部 B pool : 対戦表で若い番号のチームが本部席から見て左側とする。

## 9. ホーム・ビジター

成年の部 A pool : 本部席から見て左側をホームチームとする。

成年の部 B pool : パックスにより定める。

## 10. 最低人数

- ・ 試合開始整列時にプレーヤー 8 名とユニフォームを着用しない役員 1 名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄とみなして不戦敗(スコアは 0-15)とする。
- ・ 試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数をリンク上にそろえる事ができなくなったチームはその時点で試合放棄とする。
- ・ ユニフォームを着用しない役員氏名を当該試合のメンバー表に記載し、試合開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。

## 11. オフィシャル当番

- ・ オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者で、その任を完遂すること。
- ・ オフィシャル当番はスケート靴持参し、試合開始 30 分前までに集合し準備を開始すること。
- ・ オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行出来ないと大会役員が判断した場合、審議委員会より罰則を課す。
- ・ 罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、当該チームはその費用負担から無期限の出場停止までとする。

## 12. 競技規則

以下に定める補助規則を除いて IIHF 公式規則による。

補助規則

- a. 大会未登録選手が出場した場合は没収試合とし、そのチームは不戦敗(スコアは0-15)とする。この場合、懲戒委員会により、罰則を課す。
- b. 当該試合のメンバー表に記載されていない選手が出場した場合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残り時間出場できない。
- c. 神奈川リンクにおけるベンチの範囲は自軍のゴールラインとブルーラインからセンターライン側へ 2.5M 寄った地点の間とし、ニュートラルゾーン内の地点に標識を設ける。
- d. ロス込み時間のペナルティータイムはフェイスオフで開始し、終了時に試合が中断している場合は次のフェイスオフまで氷上に戻る事ができない。
- e. 1974 年 12 月 31 日以降に生まれた選手はバイザーを着用し、マウスガードを使用しなければならない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われるものでなければならない。(IIHF ルール 304c1.2)以上に該当する選手は V(バイザー)の表示をプログラムに明記する。バイザーは無色透明なものとし、それ以外は使用出来ない。
- f. 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
- g. ユニフォームが同系色の場合は、本部席から見て右側のチームがベストを着用する。
- h. **3 回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトにする。**

### 13. 優勝チーム

A プール優勝チームには平成 25 年に開催される全日本選手権大会関東予選会(仮称)の参加資格を付与する。

### 14. 大会参加費と支払い期限

別途 HP 上に掲載する。

棄権、失格、出場停止、試合放棄などで予定された試合を行えなくしたチームは参加費に加え当該試合のリンク代の 1/2 を大会会計に補填すること。

但し、抽選日以前に棄権を申し出たチームについては審議委員会に付議、決定によるものとする。

### 15. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手は所定の用紙をもって競技委員会に届け出ること。

なお傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用する。

試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。

また、スポーツ傷害保険は各チーム個別に任意で付保すること。

以上